

令和7年度 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童支援事業所ぷらみんぼーと			
○サービス	放課後等デイサービス重症心身障害以外			
○作成日	令和8年2月17日			
○保護者評価実施期間	令和7年9月17日 ~ 令和7年10月16日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	80名	(回答者数)	66名
○従業者評価実施期間	令和7年11月27日 ~ 令和7年12月12日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員個々の主体性を持った支援	支援方針などは職員間で協議しながら決めている。日常的に子どもの状態像を話すことでアセスメントの視点を高めている。	個別の課題に応じた支援の充実
2	子どもの意思表示の機会の促進	意思決定支援の研修にはほぼすべての職員が参加している。おもちゃや子ども自身でやりたいことを自分で選択する機会を設けている。	職員個々で児童とのコミュニケーション方法を模索し実践している。記録方法が定まていない為、今後検討が必要
3	医療的ケアやてんかん発作などの緊急時が予測される場合でも安心できる環境	動ける医療的ケア児・定期的に発作が起こる児童など家族と情報共有を行い、他の放デイでは受け入れが難しいお子さんも利用している。	指導員の医療的ケアの知識の向上し利用回数を増やせるよう調整を図っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用児童を含めた防災訓練	センター全体で防災訓練を行っているため児童が来所している時間帯での防災訓練の設定が難しい。	年間での計画し放デイ単独での防災訓練を実施する。
2	事故防止マニュアルや感染対策マニュアルなどの保護者向けの周知	マニュアルとして作成しているが、家族向けにお知らせは作成できていない。	年間で計画しお便りで周知する。
3	予約管理	学校の長期休暇期間のアンケートが手書きになっているため申し込み状況を事業所・保護者共に確認しにくい。	ICT化できるよう検討を行っていく。